

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四度二月度 入賞句一覧 投句数 千七百八十三句



特選

名和 よちゑ 選

へびを出すよけいなことをしたんだな 大垣市 高木 はやと(小三)

へびは秋に穴に入つて寒さのきびしい冬の間は冬眠します。そして春になつてあたたかくなると穴を出ます。まだ冬眠中のへびをおこしてしまつたのですね。ちよつとしたいたずらのつもりだつたのですが、へびによけいなことをしたと反省しています。命あるものにあたたかい心が生まれました。見つけたら土をかけてそつととしてあげるのが良いようです。

オリオンざそらにうかんだすなだけい 大垣市 富田 凱翔(小五)

冬は大気がよく澄んでいて星の輝きは、秋以上にキラキラとしてきれいです。オリオン座は大きく光る三つの星が並んでいるので、すぐに見つけることができます。冬の三角を線でたどるとオリオンの星と結ばれます。作者の言うとおりに砂時計の形をしています。大発見でしたね。壮大な宇宙の時間を刻む、とてもスケールの大きな句になりました。

初がらすはねを落として青空へ 大垣市 佐々木 海知(小四)

元日の朝早くに聞こえるからすの鳴き声や、その姿を初がらすと言います。からすは古くから神意を伝える霊鳥と考えられてきました。そのからすがまつ黒の羽を一枚落として青空へ飛んで行つたのですね。からすの黒と青空の青が目にもあざやかです。またその瞬間をよくとらえて詠みこみました。謎めいた幻想的な句となりました。

秀逸

手ぶくろをひとつなくしたかくれんぼ 大垣市 いの上しゅんたろう(小二)

えんがわで月をみている猫の恋 大垣市 前田 瑤実(小三)

冬桜きれいな空と風がふく 大垣市 高木 ひより(小六)

冬の夜風の音しかきこえない 大垣市 安藤 里恋(小五)

バス停のとなり小さな雪だるま 大垣市 林 大翔(小六)

本を読む日向ぼつこで時は過ぎ 大垣市 澤 祐希(小六)

でかい石どけるとトカゲねむつてた 大垣市 青木 啓斗(小六)

福笑いできたお顔がじいちゃん似 大垣市 宇納 乙葉(小六)

窓あけて雪がひろがり目がくらむ 大垣市 清水 敦生(小六)

来年こそマスクの消えた除夜の鐘 大垣市 細谷 凜(小六)

入選

小中学生の部

雪の夜真つ暗なはずが輝いた

加茂郡川辺町

長谷川 智哉(中二)

陽に当たり雪だるまたち汗をかく

加茂郡川辺町

田島 乃愛(中二)

しもやけがたきびにあたつてくすぐつたい

大垣市

やなせ さき(小二)

はつゆきがわがやのにわをうめつくす

大垣市

林 美樹(小三)

ゆきのまちなぜかおそとがあかるいな

大垣市

まぶち あきら(小二)

まつしろだおにわのえだにゆきのはな

大垣市

高橋 輝(小二)

きのうからがんばりさいた冬ばらが

大垣市

こだま あおい(小三)

かきぞめで一かく一かくふでなおし

大垣市

山田 美来(小四)

くつきりと足あと残し雪景色

大垣市

伊藤 百花(小五)

雪だるま庭でにこにこ三日間

大垣市

立川 由奈(小六)

初雪にびよんぴよん跳ねてるランドセル

大垣市

河合 慶悟(小六)

絵をかくとしろがへつてくふゆげしき

大垣市

堤 咲奈(小四)

白鳥さんつめたい川であそんでる

大垣市

林 未来也(小二)

鳥の声いつしよに春をつれて来る

大垣市

山田 圭悟(小二)

粉雪が雲からおちて花びらに

大垣市

安達 未媛(小五)

真つ白な雪に一步をふみこんで

大垣市

三日月 杏奈(小六)

さえずりが耳にひびいて空を見る

大垣市

高田 茉友里(小六)

大ゆきがいちごだったらいいのにな

大垣市

谷口 ちあき(小二)

雪あそびかみのけ雪で雪おんな

大垣市

いしやま すばる(小二)

やねは赤雪がつもって白いろだ

大垣市

佐々木 翠柚(小二)

選者吟

福袋抱へ電車の揺れ楽し

よちゑ

